

「げんき」と「やすらぎ」のさとやま文化都市の実現に向けて

庄原市長長期総合計画について答申

企画課企画調整係
☎0824-73-1128

市は、各団体の代表者や学識経験者、市民など、合計25人で構成する長期総合計画審議会(会長・野原建一 県立広島大学教授)を設置し、本市まちづくりの最上位計画となる長期総合計画に関する審議を行いました。



野原会長から滝口市長に答申書を提出

■第4回審議会(10月17日)

「基本構想の修正(案)」と専門部会*でまとめた「基本計画*(案)」について、事務局から説明しました。

委員からは、「市税収納率の向上を望む」「農林業振興に向けた、積極的な施策推進を要望する」「ゴミ分別の細分化をはじめ、リサイクル率の向上に努めてほしい」などの意見が出されました。

■第5回審議会(11月20日)

前回の審議会や各地区地域審議会での意見・提案について、事務局から回答及び対応案を説明しました。

委員からは、「若い世代が住みやすい環境づくりをはじめ、定住対策の推進を望む」「財政状況が厳しい中ではあるが、市民生活の向上策を速やかに実施していただきたい」などの意見が出されました。

■答申(11月20日)

これまでの審議会に取りまとめられた基本構想・基本計画の最終案が、野原会長から滝口市長へ「庄原市長

長期総合計画に関する答申書」とともに提出されました。

野原会長は答申にあたって、「長期総合計画の趣旨と内容を広く市民の皆さんにお知らせし、理解と協力のもと、将来像である『げんき』と『やすらぎ』のさとやま文化都市の実現に取り組まれることを期待します」との総括意見を付されました。

滝口市長は、「審議会委員の長期間にわたる熱心な議論にお礼を申し上げます。市民の皆さんと力を合わせ、計画的なまちづくりを推進します」と感謝と決意を述べました。

*専門部会は、審議会委員が分野別に集中審議を行う組織で、総務地域振興・環境建設・教育民生の3つの部会で構成。
*基本計画は、基本構想で示す「将来像」を実現するための5つの政策と重点戦略プロジェクトについて、それぞれの現状と課題を明らかにし、具体的な施策を示すもの。また、基本計画の中では、具体的な10年後の目標値を設定。

基本計画(案)で示す主な目標指標

指標項目	単 位	現状(H17)	目標(H27)	備 考
総人口	人	43,149	43,000	現状維持
総職員数(西市民病院の技師職63人(平成17年4月1日現在)を除く。)	人	667	598以下 (H23)	定員適正化計画
市税の収納率(現年分) (市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、鉱産税、入湯税の合計)	%	97.5	98.0以上 (H18以降)	収納額/調定額
入込み観光客数(年間)	万人	220	300	現状値の35%増
農家1戸当りの生産農業所得額(年間)	千円	754(H16)	830	生産農業所得額/総農家数 現状値の10%増
リサイクル率(全体)	%	36.0	44.0	資源化量/ごみ処理量 現状値の10%増
元気な高齢者の割合	%	76.7	79.0	介護認定を受けていない老年人口 /老年人口 現状値の3%増
医師1人当たりの人口	人	532(H16)	500	総人口/医師数(歯科医師を除く)
児童生徒の基礎学力調査の※通過率 ※通過率とは、正答者数を調査対象者数で割った百分率のこと。	%	小学校 国語 81.2 算数 86.9 中学校 国語 72.1 数学 69.5 英語 74.0	85.0 88.0 80.0 80.0 80.0	広島県「基礎・基本」定着状況調査

長期総合計画は、今後、議会議決を経て完成となります。

審議経過・会議資料については、市ホームページに掲載しています。